

市議会だより

3月定例会 施政方針に対する質問

- 3人の議員が各会派、党を代表して質問しました。
- 主な内容については次のとおりです。

松崎 秀実 議員

笑顔が輝く
西尾市づくりについて



小学2年生まで拡大された少人数学級

3月定例会 施政方針に対する質問

- 3人の議員が各会派、党を代表して質問しました。
- 主な内容については次のとおりです。

松崎 秀実 議員

笑顔が輝く
西尾市づくりについて



小学2年生まで拡大された少人数学級

- 問** 平成17年度から試行されていた学校二期制を平成20年度より全校で実施される要因はどのようなことですか。
- 答** 少人数学級を平成20年度も拡大されるが、その成果はどのようなようですか。
- 答** 大きな要因としては、年間授業時間や子どもとふれあう時間の増加、夏休みの有効利用、長いスパンでの評価が可能であることです。
- 問** 少人数学級により子どもにきめ細かい指導ができるようになりましたか。
- 答** 仮称「室場こども園」はどのような保育施設となりますか。
- 答** 保育サービスの充実と療育体制の拡充を図るため、室場保育園と知的障害児通園施設・白ばら学園の複合施設とします。
- 問** 市街化区域内公共下水道の未整備地域への対応策はどのようなようですか。

- 答** 事業認可の拡大を行い、平成27年度までに市街化区域全体の整備を完了するよう進めていきます。

問 名豊バイパスの仮称「にしお岡ノ山」の整備状況はどのようなようですか。

- 答** 国土交通省建設のパーキングエリアは、平成19年度に舗装、植栽、附属物などの整備を行い、平成20年度に道路情報提供施設及びトイレの施設・設備工事を実施し、供用開始の予定です。
- 問** 市直轄の地域振興施設エリアは、平成20年度に事業者の選定並びに施設・設備の実施設計を予定し、平成21年度の完成を目指して事業を進めていきますか。

問 新しい商工会議所がオープンしますが、市としての支援策はどのようなことがありますか。

- 答** 商工会議所が平成20年度に計画している新規事業の人材育成支援事業、外国人労働者適正雇用啓蒙事業、あき工場情報提供事業や拡充事業の西尾幡豆ものづくり協議会などの事業を支援していきます。

- 問** 昨年は矢作川サミット、今年は三河湾連合協議会を発足されましたが、今後の予定と内容はどのようなようですか。
- 答** 年2回程度会議を予定しており、広域的なことを情報交換しながら連携すること、三河湾沿岸地域の活性化を図っていきます。

企業誘致推進策について

- 問** 企業誘致の実績と今後のあり方はどのようなようですか。企業誘致を行う上で重要である都市計画について、どのような体制で検討されますか。
- 答** 市内6ヶ所、約45ヶ所が開発計画に着手若しくは企業誘致をしており、今後も積極的に推進します。都市計画開発担当の責任者を配置することも市長、副市長及び関係部長で組織するプロジェクトチームで検討していきます。

工藤 光雄 議員

教育・福祉・医療・交流事業について

- 問** 特色ある道徳教育と教員の人材育成システムの構築はどのようなようですか。
- 答** 各学校で道徳推進教師を指定して、市独自の方向性を探っていきます。また、教員評価制度を活用した人材育成システムを構築していきます。

問 おもてなしの心関連事業はイベント事業だけでなく、市民の人格向上策も必要ではないですか。

答 市民との協働により「西尾流おもてなし実践行動マニュアル」等を策定するため、(仮称)「おもてなしの心推進市民会議」を設置していきます。

問 高齢者交流広場や宅老所の建設計画と障害者の段階的な自立のための施策についてはどのようなようですか。

答 交流広場等の施設は、中学校区を原則に整備し、地元要望に積極的に応えていきます。自立支援の施策は、第二次障害者福祉計画に基づき、数値目標や年次計画をもって推進します。

問 「市民病院の将来を考える会」の目的と今後についてはどのようなようですか。

答 病院の後援会的組織で、財政面への支援と病院経営について提言をしてもらう組織だと考えています。

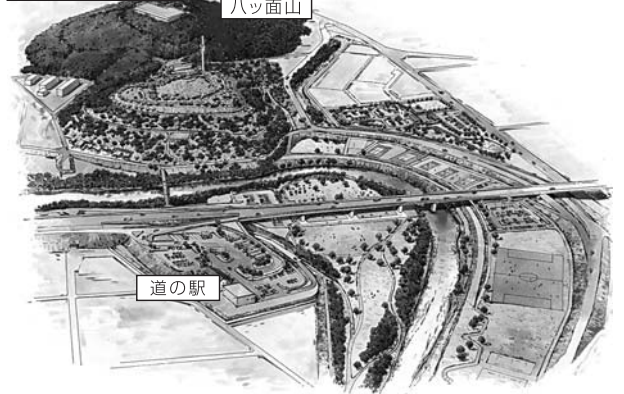
問 看護学校の広域的な運営とその方向性についてはどのようなようですか。

答 4月から碧南市と事務レベル協議を開催し、人事交流も含めて20年度中に結論を出していきます。

生活環境・都市基盤整備事業について

問 「親子で楽しめる公園」の具体的な事業計画はどのようなようですか。

親子で楽しめる公園基本構想図



答 公園にふさわしい適地と基本構想を検討委員会から3月中旬に報告を受け、今後基本計画を作成していきます。

問 「道の駅」の古川緑地一帯の将来展望と「西尾平坂東部土地画整理事業」及び「西尾吉山土地画整理事業」への投資対効果はどのようなようですか。

答 「道の駅」整備後は、ふれあいの道と古川緑地、ハツ面山公園など一体的な利用が可能となり、将来は古川左岸を公園化して総合的に利用できるようにしたいと考えています。

また、土地区画整理2事業への投資額は、約27億3千600万円で、事業完了時は世帯数1千90世帯、人口は3千537人を想定しており、投資の1・5倍く2・2倍の効果を期待しています。

産業基盤整備事業と合併について

問 憩の農園を中心とした地域の将来像はどのようなようですか。

答 「来訪者を70万人から100万人にするには」をキーワードに、活性化プロジェクト事業での整備に向けて、整備計画構想案を提示し準備中です。

問 3月6日の幡豆郡三町との首長懇談会に臨む心構えはどのようなようですか。

答 各町の将来ビジョンを聞かせてもらい、合併ありきではなく広域行政全般について忌憚なく話し合います。

鈴木 規子 議員

20年度の行財政改革について

問 施政方針演説では、行財政改革について1行しか述べられませんでした。中村市長は行財政改革に不熱心ではありませんか。

答 西尾市は日本一の行財政改革をやっていると思っています。

問 20年度の本市の集中改革プラン実行計画はどのようなようですか。

答 アウトソーシングを再点検し、本

当に市が行うべきものかどうか考え、可能なものから実施していきます。

問 人件費は下がっても、物件費など、かくれ人件費は上昇しています。このアンバランスの改善を考えるべきではありませんか。

答 人件費が下がった効果は大きいと思います。

問 職員数の割に管理職が多すぎるのではありませんか。

答 課長補佐以上は、19・6%率は上昇していますが、職員数が減っていますので、それほどありません。

問 使用料「無料化」を増やしていますが、使う人と使わない人に不公平が生じていますし、「何でもタダ」は結局、別の形で市民にツケがまわることとなります。行財政改革の基本である「受益者負担の原則」は維持すべきではありませんか。

答 市民一般を除いて、市民負担の公平性を保ちたいです。

問 既存補助金の総点検はどのようなようですか。平成18年度実施予定だった社会福祉協議会や都市施設管理協会など、市外郭団体の補助金の見直しは行いつくですか。

答 必要性があればやります。

問 施設やサービスの提供に要する費

用を公表し、市民とコスト意識の共用を図りませんか。例えば文化会館をモデルにして、わかりやすい事務事業評価をしませんか。

● 必要性があればやります。

問 資産評価のついたバランスシート作成、他会計とも連結させた決算方式で行うよう国が決定していますが、市では資産評価など、どのように行うのですか。

答 公会計の整備は総務省方式で、20年度は売却可能資産の洗い出しを行い、21年度にそれ以外の資産評価、22年度に建物インフラ資産を考えています。

問 市役所窓口の平日延長、日曜開庁は平成18年度実施が目標でしたが、まだできないのですか。市長の任期中にできるのですか。

答 いろいろな事情があります。新庁舎ではできるよう物理的な準備はしています。



現庁舎の市民課窓口

一般質問

- 8人の議員が市政について質問しました。
- 主な内容については次のとおりです。

大竹 忍 議員

学力向上と学校教育の充実

問 学習指導員や5年未満の教職員対象の「師範塾」を開催し、教職員の質の向上を図りませんか。

答 県教育委員会など主催の研修と、各学校で若手教員の研修に努めています。「師範塾」開催は考えていません。

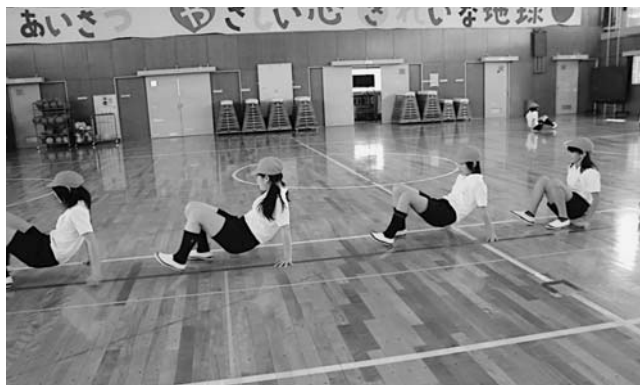
問 学校長には経営手腕も求められています。校長を対象に経営講座の開催を考えませんか。

答 県や市の校長会などで企画され、大学教授、弁護士などを講師に研修会を実施しています。新たな経営講座の開催は考えていません。

問 学力向上のために、体力をつけることが重要です。「体力向上プログラム」を導入し、体力・運動能力の向上を図りませんか。

答 現在、導入している学校が2校あります。子どもが意欲をもって取り組

み、運動好きな子どもが増えているということです。体力向上プログラムの導入を考えていきます。



体力向上プログラム（クモ歩き）

問 市ホームページ掲載の企業広告を活用した「クリック募金」を導入し、学校に学習教材の提供をしませんか。

答 クリック募金は、学校教育教材の購入資金を得る有効な方法だと思えます。今後検討していきます。

地域力・市民力と行政との協働

問 ボランティア団体への支援を今後実施していきませんか。

答 20年度からは、市と協働した活動で、自発性・自立性により、活動が不特定多数のものに利益に寄与する、10人以上の団体で、規約等が有り継続している活動団体に対して、10万円を限度額に対象事業費の2分の1を助成していきます。

問 協働事業を実施する上での原則・方法等の基本方針を策定し、促進を図りませんか。また、職員として何をすべきかについてのハンドブックを作成し、全職員に配布しませんか。

答 市民との協働は、これからの行政としては重要なことと認識しています。事業を推進する上での基本方針を策定していきます。

職員に対する研修を実施して、市民との協働の必要性を認識させます。ハンドブックの作成も検討します。

問 シニア世代対象のインターンシップ事業を実施しませんか。

答 ボランティア講座など、今後も積極的に取り組んでいきます。

問 各地域での自己決定による政策が実施できる住民自治を育成しませんか。

【答】「地域内分権」も視野にいれながら、住民自治組織の育成を検討していきます。

安藤 好実 議員

環境施策について

【問】市政世論調査では、公園、緑化対策で必要性を訴えているが、矢作古川河川敷公園は、市宮鎌谷住宅を越したところで遊歩道が上がっています。その北にある頭首工までの歩道を延長し、県が遊歩道を整備したところまで接続していくべきではありませんか。

【答】宅野島橋から小焼野橋までの区間については、現在、雑木が生い茂っているため、県に伐採整備をお願いしています。

【問】未整備の場所では、現在、笹が生い茂ってオートバイやテレビなどの粗大ごみの不法投棄の場所にもなっているため、環境を良くして歩道を結ぶなどの、良い知恵はありませんか。

【答】雑木が生い茂っている場所、汚れている場所は不法投棄されやすいため県に伐採、清掃のお願いをし、散策できるようにしていきます。

【問】近年、田んぼが減少し、豪雨時の天然ダムの役割が果せなくなりつつあるが、田んぼが持つ他面的機能や地球温暖化防止に貢献していることから矢作川南部土地改良区に他市並に助成金を出していく考えはありませんか。

学校図書館の活性化について

【問】児童や生徒のために小、中学校の20ある学校図書館に司書を配置していく考えはありませんか。

【答】学校司書は、20年度、6人配置し、22年度は10人の配置を考えています。



全中学校区に配置された学校司書

【問】調べ学習は、自分で考えることから学力向上にも成果を上げているが、教育委員会として調べ学習に対して、どのように受け止めていますか。

【答】調べ学習については、生きる力を育むために大変重要なことであると思っています。子ども達が自分でテーマを設定して、どうやって調べたら良いかを勉強して調べたことをまとめていく力、これは、まさに生きる力につながることを考えています。このことについてテーマを持って研究します。

筒井 登 議員

市長の市税滞納問題について

【問】議会が市長に弁明の機会を与えるために全員協議会を開いた以上、自らの市税滞納の事実関係を細かなところまで調べ、議員からのいかなる質疑に対しても、真摯に説明すべきであつたと考えますが、市長は終始、不誠実な態度でその会議に臨み、個人情報理由に全く説明しませんでした。今でも新聞報道のとおりということですか。

【答】記者会見、全員協議会で申し上げたとおりです。

【問】市長は、自らの市税滞納に対する処分について、減俸で済ませてしまおうという情報が入っていますが、市民に対する説明が先決ではありませんか。

【答】どこから出た情報なのか分かりませんが、私、自らが判断することです。

西尾市の財政について

【問】平成19年度末現在、西尾市が抱えている全ての借金はいくらですか。また、市民一人当りはいくらになりますか。

【答】今年度末における西尾市の借入金残高の合計額は、493億8千500万円です。市民一人当り、45万6千円となります。

【問】国の普通交付税（補助金）交付の基準となる財政力指数は平成19年度（単年度）でいかにほどですか。

【答】1・324で数字の上では国からの交付税をもらわなくてもやっていくということですが。

【問】西尾市には、莫大な借金があるにもかかわらずこの借金を返さずに、しかも貯金を取り崩してお金を使つていふおかしなことをやっていますか、不自然とは思いませんか。

【答】市民ニーズに応えるため、市民福祉の向上のためであればやむをえないことと考えています。

市職員の懲罰規定について

問 本市教育委員会は、昨年度、中学生の部活動中の事故に対する損害賠償について、私は裁判所の判断であれば議会の責任は免れるから裁判でと申し上げましたが、和解の道を選ばれました。であれば、教育委員会は議会に対して十分な説明責任を果たした上で示談交渉を進めるべきであったではありませんか。

答 例のプール事故のことですが、決して隠すということは無く、部会、委員会、議会に出してきたと思っております。もしそのように感じてみえるのであれば、考え直したいと思えます。

問 一宮市及び一宮市教育委員会は部活動中に死亡した生徒の一審判決賠償金約4千500万円を不服として控訴しています。私が本市の教育委員会に望むところは、まさにこの一宮市の姿勢であります。本市教育委員会は、引率教師に対して簡単に9割の責任を認めることなく部下をかばう姿勢を見せるべきであったと考えますが、一宮市の姿勢についての見解はいかがですか。

答 一宮市の事例は子どもがお亡くなりになっていること、本市では、1級の後遺障害が残ってしまったということで大きな違いがあったと思います。なお、本市教育委員会も一宮市教育委員会と同様に部活動の先生には懲罰

を与えませんでした。

問 飲酒運転が発覚した場合の職員に対する処罰についてはどのようなのですか。

答 酒酔い運転では事故及び摘発された場合、免職となります。酒気帯び運転では、人身事故は免職、物損事故は免職または停職、摘発された場合は免職、停職もしくは減給処分ということで国の基準よりも厳しい姿勢で臨んでいます。

中村 行男 議員

食の安全で安心の農業支援について

問 食料自給率が全国的に40%を切っているが、西尾市の食料自給率は、どのようにですか。

答 主要穀物は、水稲96%、小麦93%、大豆175%です。

問 休耕の畑が見受けられるが農業をしてみたい人のため市民農園の拡充をしませんか。

答 来年度、NPO法人が市内で市民農園の開設を計画していますので、積極的に支援を行っていきます。

問 輸入野菜の残留農薬が多いと聞きますが、安全対策はどのようなのですか。

答 平成18年のポジティブリスト制度の施行に伴い県の農業改良普及課、JA西三河などが連携し、各出荷組合の組織を通じ制度の周知や農薬の適正使用、飛散防止策の啓発を行って安全性の確保が図られています。

緑化推進基金の有効利用について



緑化推進基金で植栽された樹木

問 基金の積立金はどの程度で、運用方法をどのように考えていますか。

答 平成20年3月末の予定で1億2千938万7千円程度です。目標額を5億円として公共緑化の推進を目指し柔軟な運用を考えていきます。

問 西尾市は植木の産地です。契約生産を考えませんか。

答 緑化推進には、地元の生産者に協力いただかなければできないことですが、現時点では、契約生産までは考えていません。

問 緑化推進基金を利用して植栽を市を挙げて進めませんか。

答 森と緑づくりのための新たな施策を計画しており、この中では「都市緑化」事業も含まれております。

地域消防力の強化について

問 消防職員の充足率は、51%と低く過密な勤務状況の中、消防職員の増員と再任用を進めていく考えはありませんか。

答 職員の増員については、退職者の補充抑制により職員の削減を行っている中ではありますが、少しずつ増員を図って行きたいと考えています。

問 H5N1型インフルエンザの感染症が大流行した場合、消防として搬送等体制はどのようになっていますか。

答 一旦発生すると爆発的に感染が拡大し、ウイルスの重症度も高く大きな人的被害が発生すると予測されます。適切な救急業務提供体制を維持するため救急隊員自身の感染防止を確保し、

救急隊員を媒介とした感染拡大を防止するため感染防止衣、N95マスク、手袋、シューズカバー、ゴーグル等の資器材を増強し対応していきます。

長谷川 敏廣 議員

一市三町合併問題について

問 3年ぶりの合併協議の再開に向け合併幹事会の開催はどのようですか。

答 一市三町のトップと合併を含めた広域行政について話し合う懇談会を開催し、合併について忌憚のない意見を出し合い、十分な話し合いを進むべきであり、機が熟したならば、事務レベルの幹事会を開催します。

問 2010年3月が新合併特例法の期限ですが、今後の見通しはどのようですか。

答 西尾市のような不交付団体ではメリットも少ないものですから、合併新法の期限に惑わされることなく、合併論議を急いで進める必要はないと考えています。

問 三市四町の三河湾協議会や岡崎市豊田市を含めた指定都市構想と一市三町合併との関連はどのようですか。

答 西尾市と幡豆郡三町の合併は、三

河湾沿岸地域の将来を見据えた場合には、まずはその第一歩であると考えています。

特定健診について

問 平成20年4月から特定健診が始まりますが、どのような内容ですか。

答 これまでは、病気の早期発見・早期治療を目的としてきましたが、法改正により、糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的にしたものです。

健診結果により、メタボリックシンドロームの該当者や予備群と判定された方を対象に生活習慣病を改善するための保健指導も実施してまいります。

特定健康診査・特定保健指導を受けましょう



六万石くるりんバスについて

問 路線見直しと、公共交通空白地域への対応を協議する地域交通会議の進捗状況はどのようですか。

答 昨年12月20日に第1回の西尾市地域公共交通会議を開催しました。

第1回会議では、事務局より市内の公共交通の現状及び六万石くるりんバスの利用状況について報告しました。

問 つくしが丘や南中根町、奥田町などの郊外も含め公共交通空白地域に関しての路線拡大検討はどのようですか。

答 六万石くるりんバスの拡充等については、既存の路線バスや鉄道などの公共交通機関との競合に配慮しながら、西尾市地域公共交通会議において、公共交通空白地対策も含めて検討していただいています。

親子で楽しめる公園の整備について

問 親子で楽しめる公園の検討委員会での、19年度の検討状況はどのようですか。

答 19年度は市内でイメージ案にふさわしい適地の選定をし、基本構想を検討していただいています。検討委員会から3月中旬に報告書が出される予定です。

問 写真、絵画展などを開催する市民ギャラリーの設置を考えませんか。

答 市民ギャラリーを新設する計画はありませんが、今後、市民の要望を見極め、多目的に利用している文化会館

3階会議室を展示室にふさわしい環境になるように整備を進めてまいります。

広中 利臣 議員

創作教育などについて

問 学校に演劇科を設置しませんか。監督、俳優、ダンサー、マジシャン(手品師)等を学校に派遣し交流授業を開催しませんか。演劇家養成講座等

を開設して新進芸術家のショートライブなど発表会を開催しませんか。

答 交流授業は実施しています。あとは考えていません。

問 演劇療法を導入するなどして、アクトイビティ・ディレクター(A/D)を育成しませんか。こども劇団を育成し、福祉施設に派遣交流しませんか。

答 考えていません。

問 糖尿病患者向け災害時マニュアルを作成し、薬剤備蓄をしたり、災害卜レーナーを育成しませんか。

答 マニュアルは関係機関と協議作成し、薬剤は医師会等と協議をし、トレーニングは医師や看護師で対応します。

問 食の都構想を公募して、まちづくりに生かしたり、国際ポテト年を記念して食の大切さを考える展示会を開催したり、緑の提灯掲示やマークを作成したりして、飲食店などで国産や安全な食材使用をアピールできる認定を設けませんか。

答 考えていません。

問 糖質を多く含む清涼飲料水を飲み過ぎると健康を害するペットボトル症候群の注意を呼びかける講習会を開催したり、広報にしてお注意を呼びかけていきませんか。

答 考えていません。

問 酵素の研究をすすめたり、アルコール依存症等嗜癖（アディクション）の講習会を開催したり、アルコールを飲むと体の中で何が起こるかを教える子ども向けの講座を開設しませんか。

また、公用車を運転する職員に、飲酒検知を実施しませんか。

答 酵素の研究は広く周知されていますので、講習会は考えておりません。他の講習会は実施しています。

アルコール検知器を利用していますが、必要な部署には配備します。

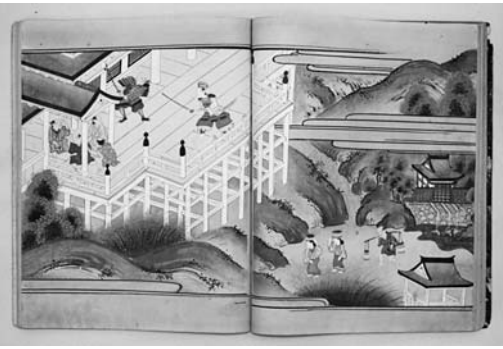
ネットいじめとパワーハラスメントなどについて

問 ネットいじめとパワーハラスメントの全庁挙げた根絶チームを編成しませんか。また、サイバーパトロールを実施し、地域や市役所等の連携協議会を設立しませんか。

答 根絶チームは検討し、協議会は研究しますが、あとは考えていません。

問 市政ニュースや記録映画等を動画投稿サイトに掲載したり、e物産市を開設してブランド品や特産品をPRしたり、岩瀬文庫電子展示室を開設したり、西尾市ホームページの広報にしてお等の音声案内を創設しませんか。

答 e物産市は考えていませんが、あとは研究し検討します。



岩瀬文庫所蔵『義経記』(ぎけいき)の図版

問 生活保護世帯の相談体制を充実させるためにケースワーカーを育成しませんか。

答 育成に努めます。

牧野 次郎 議員

市長の市税滞納問題について

問 滞納が発覚して以来、正確な詳細の説明を一切市長は拒んでいきます。市民へのお詫びの前に、事実を明らかに説明する責任があります。市税等滞納の時期と金額、納付状況の詳細を公表すべきではありませんか。そのうえで、どのようなはじめをつけられる考えですか。

答 人それぞれ考え方が違い、私は私の考えで自由であり、おもてなしの心を話す上で、心の痛みのわかる政治家でありたく、私の政治姿勢で努力しています。道義的責任は、しかるべき時期に私から報告します。

問 市長は自らを厳しく律する政治倫理規定などを設けられませんか。

答 考えていません。

後期高齢者医療制度について

問 年齢が75歳以上というだけで、国保や健保から追い出され、保険料が年金天引きされ、払えなければ保険証が取り上げられ、保険のきく医療が制限されるなど、高齢者差別の制度の中止・撤回を求めませんか。

答 中止撤回を求める考えはありません。市長会を通して働きかけていきます。

問 厚労省は、自治体で保険料軽減の独自助成を可能というが、市は行いませんか。

答 考えていません。

問 障害者は65歳で後期高齢者医療制度の対象になるが、後期高齢者医療制度を選択しなかった場合、医療助成の対象から外されないように市の制度を見直しませんか。

答 考えていません。

善明市民運動広場の崖の崩落



崩落防止対策が施される善明市民運動広場の現場

問 市が一昨年に取得した平方メートル1万6千円、2千344平方メートルの市民運動広場の崖が崩落しました。この土地はデンソーを支える崖で、デンソーが取得するよう求めるべきです。

答 市民に不利益しか及ぼさない土地取得による損失はどれほどで、デンソーに応分の負担を求めませんか。

問 崩落の対策などは市が負担をするもので、損失があるとも考えていません。デンソーへの売却なども考えていません。

牧野 勝子 議員

環境課題の改善は急務

問 環境対策は焦眉の課題です。当市でも、環境課題の改善に向けた取り組みを、強気に推進すべきではないですか。

答 平成20年度は、地球温暖化対策に新たな補助事業を設けるほか、環境家計簿やレジ袋の削減に向けた取り組み等、環境への負担軽減に努めます。

問 剪定枝の多くが焼却処分され、焼却炉をいため、CO2も排出しています。堆肥化は、最も有効なりサイクルの方法ではありませんか。

答 剪定枝のリサイクルは資源の有効活用による循環型社会の構築だけでなく、温室効果ガスの排出抑制による地球温暖化防止にも有効です。今後、リサイクルの促進を図る中で、再利用はどの方法が有効であるか研究していきます。

問 菜の花の栽培によりCO2を減らすことの効果もある菜の花プロジェクトを推進しませんか。

答 市内では、2団体が菜の花プロジェクトに取り組んでおり、支援しています。

問 廃油を回収してバイオディーゼル燃料に変える事業を岡崎の業者が行っています。西尾市でも行いませんか。

答 バイオ燃料をゴミ収集車に利用できないか検討した際、メーカーとしては安定走行の保証ができないとのことでしたが、そうした技術的な問題がクリアできれば、導入を検討していきたいと考えています。

問 誰でもいつでも出せる資源ごみステーションの建設を、早めませんか。

答 平成20年度には、市役所の新庁舎建設に合せて、資源ステーションをつくります。

問 街路樹の下がきれいになっているところを広報等で宣伝し、清潔で美しいまちづくりの啓発をしませんか。



ノースポールの植え込みが美しい永吉町地内の街路

新庁舎建設の契約について

答 街路の清掃、美化活動のよい所の実例があれば、広く知らせPRします。

問 新庁舎の建設に係る契約では、3割を地元業者に下請に出す予定でした。建設に着手する前に下請業者を決めなければ、おざなりになることは明らかです。なぜ建設着手前に決めなかったのですか。

答 下請業者工事は多くの業種に分かれており、限られた工期内で決定することは困難です。

6月定例市議会
開催予定のお知らせ

6月5日(木)	本 会
6月6日(金)	本 会
6月9日(月)	本 会
6月11日(水)	厚生教育委員会
6月12日(木)	経済建設委員会
6月13日(金)	企画総務委員会
6月16日(月)	特別委員会
6月23日(月)	本 会

▼開会時間は午前10時です。

* 本会議は議場
* 委員会は第1委員会室





3月定例会で可決された議案



★西尾市後期高齢者医療に関する条例の制定について	後期高齢者医療制度の開始に伴い市が行う事務を定めるため、制定するものです。
★地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第44号）が公布、施行されたことに伴い改正するものです。
★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	青少年スポーツ活動を主とする団体が小中学校の屋外体育施設夜間照明施設を利用する場合の使用料等を改正するものです。
★西尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	健康保険法等の一部を改正する法律（平成18年法律第83号）が公布されたことに伴い改正するものです。
★西尾市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険料の激変緩和措置を平成20年度まで延長するため、改正するものです。
★西尾市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市営住宅への暴力団員の入居の制限等をするため、改正するものです。
★西尾市立保育所設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	三和保育園敷地の整備・拡張に伴う土地登記により、所在地表示を改めるため、改正するものです。
★西尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	区画整理事業の換地処分に伴い、鶴城幼稚園の所在地表示を改めるため、改正するものです。
★西尾市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	西尾市伊文ふれあいセンターの廃止と、区画整理事業の換地処分に伴い、西尾市鶴城ふれあいセンターの所在地表示を改めるため、改正するものです。
★市道路線の廃止について	開発行為により市道として存置する必要が無くなるため、花蔵寺37号線を廃止するものです。
★市道路線の認定について	開発行為等により建設された道路4路線（今川細池2号線、平原50号線、桜17号線、下羽角18号線）を、市道として管理するためのものです。
★西尾市土地開発公社定款の変更について	郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成17年法律第102号）が公布・施行されたことに伴い、定款を変更するものです。
★西尾市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について	暫定的に市長の給料を減額するため、制定するものです。
★調停の申立てについて	はしご付消防自動車の入札会において、落札した相手方の債務不履行による損害賠償金の支払いについて調停の申立てをするものです。
★平成19年度3月補正予算	一般会計補正予算（第4号、第5号）、公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）、老人保健特別会計補正予算（第3号）、農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）、介護保険特別会計補正予算（第4号）

★平成 20 年度当初予算	一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、老人保健特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、病院事業会計予算
★人権擁護委員に、小林紀美子氏の推薦の諮問について可として答申しました。 ★姉妹都市等の行政視察のため、長谷川敏廣議員、稲垣正明議員、松崎嘉信議員、中村眞一議員をニュージーランドのポリルア市、ロトルア市へ派遣することを議決しました。	

★3月定例会で否決された議案及び決議(議員提出の議案及び決議)

- 西尾市精神障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 西尾市障害者医療費の支給に関する条例及び西尾市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
- 中村晃毅西尾市長の市税等滞納問題の調査に関する決議

■4月臨時会で可決した議案

★西尾市固定資産評価員の選任の同意について	固定資産評価員に川部広樹氏の選任について同意するものです。
★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	戸籍法の改正に伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令(平成20年政令第48号)が公布されたことにより、関係部分の条文整備をするものです。
★工事請負契約について	西尾中学校昇降口棟改築工事に伴い、工事請負契約を締結するものです。
★財産の取得について	新庁舎で使用する庁舎備品の物品供給契約を締結するものです。(平机、脇机、ワゴン、その他一式)
★財産の取得について	新庁舎で使用する庁舎備品の物品供給契約を締結するものです。(事務椅子、チェア、ミーティングテーブル、その他一式)
★財産の取得について	新庁舎で使用する庁舎備品の物品供給契約を締結するものです。(カウンター用椅子、会議机、会議椅子、その他一式)
★財産の取得について	新庁舎で使用する庁舎備品の物品供給契約を締結するものです。(収納庫)
★財産の取得について	新庁舎で使用する庁舎備品の物品供給契約を締結するものです。(議場家具一式、委員会家具一式、その他一式)

意見書

次の意見書を、国会及び関係行政庁に提出しました。

★道路特定財源の確保に関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済財政政策大臣、国土交通大臣
-------------------	---

西尾市議会だより編集委員会
FAX 5410311
電話 5612111

◎神谷 庄二 ○松崎 嘉信
長谷川敏廣 中村 眞一
田中 弘 鈴木 規子
大竹 忍 牧野 勝子

議会だより編集委員

編集室

▼3月議会は、3人の議員の施政方針に対する質問及び8人の議員による一般質問がなされました。その内容を、ここに報告します。

▼本年度は、市制55周年、岩瀬文庫100周年記念、新庁舎完成等記念すべき年であります。

一方では、暫定税率の問題、物価の上昇、食問題等課題の多い年でもあります。

10万8千人の市民の方々が安心して潤いのある生活ができるように、現実と未来をしっかりと見据えた市政を展開していかねければならないことを痛感するこの頃です。

▼ニュージーランド姉妹都市協会総会がロトルア市で4月10日・11日に開催されました。総会に招待された市長と共に、4人の議員も参加しました。日本とニュージーランドとの姉妹提携に都市は43都市にも及んでいます。総会に参加する中で、心と心の交流を深めることの大切さ、世界は一つ、という思いを強く抱きました。

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。